



教員紹介

リハビリテーション学部

恩田 真也 ONDA Shinya

職位	助手
最終学歴	吉備国際大学大学院（通信制）保健科学研究科作業療法学専攻修士課程修了
職歴	IMS グループイムス板橋リハビリテーション病院 医療法人昌峰会加藤病院を経て、現職
学位	修士（作業療法学）
資格（免許）、認定	作業療法士 / 認定作業療法士 日本訪問リハビリテーション協会認定訪問療法士 MTDLP 実践者 / AMPS 認定評価者
担当科目（学部）	基礎作業学 / 基礎作業学実習 / 作業療法総合技術演習 / 人間関係・コミュニケーション論
担当科目（大学院）	
学生へのメッセージ	作業療法士は、対象者のその人らしい生活に向けて、従来の医療・介護・福祉分野にとどまらず、労働・司法・教育分野など様々なフィールドへ活躍の場を広げています。生活を彩る“作業”を専門とする作業療法を一緒に学んでいきましょう。
研究内容	作業バランスに関する研究 予防的作業療法に関する研究 作業療法理論に関する研究
研究分野キーワード	作業バランス / 予防的作業療法 / 作業機能障害 / 作業療法理論
URL	https://researchmap.jp/s.onda
著書	
論文	1) 恩田真也, 寺岡睦: 移動手段の移行に向けた OBP2.0 による評価と介入—回復期退院後に作業機能障害が発生しなかった事例—. 日本臨床作業療法研究 11, 58-64, 2024. 2) 恩田真也, 森田秋子, 鯉坂麻希子: 外来作業療法における認知関連行動アセスメント (Cognitive-related Behavior Assessment ; CBA) の臨床有用性—OT と患者家族間で CBA を活用した一事例—. 作業療法 43 (4), 586-592, 2024 (in press). 3) 恩田真也: 予防的作業療法のための作業バランス評価の開発と尺度

	特性の検討，修士学位論文，2024.
学会発表	1) 恩田真也，寺岡睦，京極真：予防的作業療法のための作業バランス評価（Assessment of Occupational Balance：AOB）の開発，第 58 回日本作業療法学会，2024. 2) 二口慧也，恩田真也：OBP2.0 と MOHO の活用により自宅復帰に向けた多職種協働が促進された事例—元看護師としてのセルフアセスメント・余命を勘案した作業同一性の共有—. 湘南 OT-Web 学会，2024 3) 恩田真也，森田秋子，鯉坂麻希子：役割再開に向けて OT と家族間で「CBA（認知関連行動アセスメント）」を用いた高次脳機能障害者の一事例. 第 57 回日本作業療法学会，2023. 4) 恩田真也：作業機能障害の種類と評価（CAOD）の応用的使用による実践. 第 7 回日本臨床作業療法学会 on Web，2021. 5) 恩田真也：復職に向けて作業遂行のプロセス技能に着目して介入した事例. 第 19 回東海北陸作業療法学会，2019. 6) 恩田真也，渡邊祥平，加藤早紀子：作業機能障害について CAOD で自己評価することで新たな作業参加に繋がった事例. 第 52 回日本作業療法学会，2018. 7) 恩田真也，伊藤泰士，大野勘太：自己効力感の向上によって役割を再獲得した事例. 第 14 回東京都作業療法学会，2017.
社会的活動 (公開講座・講演・ 国際交流など)	1) 日本訪問リハビリテーション協会学術大会 演題査読 2) 認定訪問療法士 認定審査査読 【所属学会】 1) 日本作業療法士協会 2) 日本訪問リハビリテーション協会 3) 愛知県作業療法士会 4) 日本臨床作業療法学会
その他	